　**ニュースレター　２０２２年12月号**

**１　ご挨拶**

　今年も残すところ約２週間となりました。皆様如何お過ごしでしょうか？コロナの重症化率は低下したとはいえ、感染者数が増加傾向にあることに一抹の不安を覚えます。どうか皆様、体調管理には充分ご配慮いただき、今年を気持ちよく終えて、素晴らしい２０２３年をお迎え頂きますようお祈り申し上げます。

**２　タイミングを計るお客様へ**

　投資の世界＝　「安く買って高く売る」

理屈は簡単でも、実践するのは至難の業。成功している人はごく稀では？

しかし　１００％成功　又は　「成功するのが当たり前」とい方法があります。

　資料①をご覧下さい。これは毎年１００万円を２０年間　買い続けたケースです。左下の表は、各年の最高値で買い続けたケース。２０００万円が

５６５１万円と　３６５１万円の利益　年率複利で　9.1％

　右下は誰でもが望む、最安値で買い続けたケース。２０００万円が

７９５６万円と　５９５６万円の利益　年率複利で　11.9％

　差額は確かに２３００万円程ありますが、共にプラスであり最高値で買い続けても２０年間継続したら元本に対して２.8倍になっているという事。

　次の項でも証明されますが、**長期投資に勝るものはない**　という事です

**3　時間を味方にした積立投資**

　資料②　③　をご覧ください

１０年間　２０年間　３０年間　４０年間と４つのパターンがありますが、いずれも毎月１万円ずつ積み立てたケースです。

　１０年間だと１００人中　７人がマイナス（元本割れ）

しかし２０年間でみますと、１００人中　全員がプラスです。それも最低で

1.3倍　**平均で　2.6倍　２４０万が　６２９万に！**

３０年　４０年だと　すごい数字に！　これは複利運用の効果もあります。

**4　２０２３年以降の世界経済展望**

　資料④～⑥は、渡辺　努氏（東大大学院　経済学研究科教授）と

機関投資家（金融機関の運用担当者）向けのコンサルティング会社社長の

ズラウフ氏による解説から導いたものです。

　コロナで、人件費が安い国や地域で生産し組み立てるグローバル供給網の弱点が露呈し物の供給不足に。　更にはロシアやチャイナによるリスクが脱グローバル化を促進した。

　これにより、グローバル企業経営者の約９割以上が、生産拠点を自国か又は自国と友好国に移す事になるだろうと判断している！

　過去３０年間続いたグローバル化の時代が終わりを告げ、今後は効率性よりも　安全保障に重点をおいた経営に変わっていく。

　そうすると人件費や製造コウストも高くなるので、必然的にインフレとなります。

２０２３年前半は、一旦インフレ率の低下がみられるものの後半から２０２４年　２０２５年にかけて　２桁インフレの時代が到来すると予測しています。いうまでもなくインフレは、お金の実質価値を低下させます。インフレ率以上の運用が今後益々重要になってきます。

**5　まとめ**

以上を踏まえて、今後の運用について対処される事をお勧めいたします。

**それをサポートして「世界の株式市場が生成する年率7.5％のリターン（収益率）をお客様にお届けする」が当社のポリシーです。**

　２０２２年12月12日　代表：岩本　悟